



こうほう

— 総代会、各本部全体会議特集 —



DENNET

デンネット“DENNET”は電気(Denki)工
事業で固く結ばれた協同集団(Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 161 号

令和6年(2024年)7月20日

石川県電気工事工業組合

がんばろう！能登 能登半島地震

2024年1月1日16時10分に、石川県能登半島地下16 kmで発生した内陸地殻内地震。マグニチュード7.6 観測された最大震度は、輪島市門前町と羽咋郡志賀町で観測された震度7という猛烈な大地震が発生した。

その地震により津波、土砂災害、火災、液状化現象など各地で発生し、家屋の倒壊が相次ぎ死者も300人を超え、交通網の遮断、電気・水道も長時間により寸断され今現在も社会に大きく影響を与えている。

1日も早く元のままの能登の姿に戻るよう祈るばかりです。

がんばろう！ 能登 がんばろう！ 石川

目 次

新年度のご挨拶	1
第83期通常総代会	10
62回優良従業員表彰式	17
3本部、全体会議	20
電気使用安全月間行事	23
各本部だより	25
青年部だより	33
女性部だより	34
新加入組合員の紹介	35
2024年度 第一種電気工事士定期講習会開催予定	36
組合事務局日誌	42

新年度を迎えて

理事長 米 沢 寛



令和6年度の通常総代会が開催され、皆様のご協力のお陰で全ての議案が承認可決され無事に終えることができました。本年も鋭意取り組んで参りますので、皆様のご協力の程よろしく申し上げます。

先ず、今年の元日に発生した能登半島地震では、県内過去最大のM7.6という激震でありました。お亡くなりになられた方々には、謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地での復旧作業に従事されている皆様に深く敬意を表します。これからも先の長い復旧になると思いますが、皆様のご協力をお願いします。被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年の地域経済は、行動規制の緩和により交流人口が回復し、社会経済活動の活発化がみられ、国際情勢の不安定化やエネルギーと原材料の高騰など、依然として厳しい環境にある中で少しずつ着実に回復してきています。更に今年は我々の地域にとって、かねての念願でありました北陸新幹線が敦賀まで開業された記念すべき年であり延伸開業効果による地域経済の更なる飛躍が期待されます。

一方、我が国は、かつて経験したことの無い人口減少社会を迎えつつあります。我々、電気工事業界に於いても今後の発展のためには、電気工事技術者不足に対する担い手確保・育成対策など外国人材の活用を含め若い人たちに興味をもってもらい業界づくりが変わらぬ課題と考えています。外国人労働者につい

ては、全日大で会員事業先行事例をワーキンググループで調査中です。富山県で6社、福井県で1社採用しており延べ10名程度が採用されています。外国人の受け入れ方策について、現状の法制度での課題、組合起点でどのような支援ができるのかを全日大で検討しているところです。女性部会については、人材よりも女性の感性、考え方を組織の政策に取り入れることがこの業界を大きく変える要素となると思います。現在、全国15県で設立されています。女性部連絡協議会の発足後、設立に向けた動きが加速しており、女性活躍推進に積極的に応じていきたいと思っています。

産業界全体に求められている働き方改革については、我々の業界も今年度から適用となりましたが、電気工事は幅広くその性質上、常に最新技術や法規制の変化に対応する必要があるため働き方改革についても、さまざまな取り組みが必要と思われま

最後に、今年11月には、第5回電気工事技能競技全国大会が横浜アリーナで開催されます。全国の精鋭が集い日本一の技の能力を競い合います。北陸ブロックでは、9月に予選会を開催し全国大会の出場者を決定します。今大会に向け出場選手は、先輩らの指導を受け練習に励んでおります。日頃の技を競い合うと共に技術レベルの向上を図る絶好の機会であり、熱い戦いが繰り広げられることを期待します。

本年度も引き続き組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

新年度を迎えて

副理事長兼
理事長代行兼
加南本部長
(配電担当)

今 出 真 稔



まず初めに令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々ならびに住宅が被災された組合員ならびにそのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興そして被災された組合員の生活が一日も早く平穏に暮らせることをお祈り申し上げます。

北陸電力送配電株式会社の方々においては、年末の雪害復旧が終わった矢先の元旦からの震災復旧対応で身体の休まる間がなく大変なご苦労があったことと存じます。また、正月休みを返上しての復旧作業に携わっていただいた組合員の方には、過酷な環境下（悪路での長時間の移動・厳しい寒さ問題・水不足やトイレ問題・限られた食事や宿泊環境の問題等）の中、多くの方々のご協力によりライフラインの仮復旧作業が進んだことに感謝申し上げます。

さらに組合職員の住宅が被災されたにも拘わらず職場復帰された方や正月にもかかわらず施工者手配の連絡に奔走された職員の方、他の職場へ業務応援された職員の方に厚くお礼申し上げます。

これからは、電力グループの皆さまと一丸となり、能登地区の明るい未来に向け復旧・復興を目指して行く考えであります。

さて、配電委託工事に関して北陸電力送配電株式会社とは良好な信頼関係を継続しており、配電工事委託工量単価も昨今は増額改定されてきておりますが、震災の影響やインフレによ

る物価高騰などを考慮し、工量点数の増加に向けた改定も含め引き続き強い思いを込めて協議を深めて参りたいと考えています。これからの発注者と受注者間の信頼関係においては、一人一人が基本ルール遵守と安全作業に徹することで関係強化が図られ、より良い成果を築いていくこととなります。

一方では、熟練技術者の高齢化に併せ、少子化による人材不足問題が企業承継問題へと身近な問題となっており、将来的に組合員の減少も懸念されるところであります。まずは雇用環境（ワークライフバランス）を整備し若年層が電気工事を通じての達成感や成長（期待）できる業界の認知度向上と新たな人材確保（外国人雇用等）に取り組む必要があります。

このような状況下であります、皆さまと力を合わせ、より良い組合活動を行っていきたいと思います。

これから本格的な猛暑の季節となりますが、ご家族・従業員の方々を含めて健康と安全には十分ご留意されご壮健にて盛夏を乗り切られますよう体調管理には十分ご留意されご自愛くださいますようお願い申し上げます。

最後に、皆さま方のますますのご健勝とご繁栄をご祈念いたしますとともに、諸先輩方々はじめ組合員の皆さまから、尚一層のご指導・ご鞭撻を頂戴いたしたくお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。

震災から見えた事

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣 健英



令和6年1月1日午後4時10分、突然の地震でした。直感でこの地震は大きいと感じたその1分も経たないうちに二回目の地震が来た。一回目とは比べようがない程の衝撃で本当に家が潰れると確信しました。

幸い怪我は有りませんでした。自宅は無残な姿にほぼ全壊です。

輪島で震度7の地震は平成19年の能登半島地震の6強と比べても3倍、4倍強い地震でした。

水は出ない、停電、正月早々大変な事態です。真冬に停電でストーブも使えない。

3日間車の中で生活です。携帯電話は繋がらない中社員の安否を確認するのに4日を要し残念ながら社員一人が自宅の下敷きになり亡くなってしまいました。

その後の被害状況は新聞、TVで報道されましたので詳細は省きますが1月2日からはインフラの復旧です。停電は能登全域に及び県内金沢、加南のみならず富山、福井からの応援に日本の各電力会社からも電力の復旧に駆けつけていただきました。当然宿泊する場所も無い中、車中泊での作業に頭が下がる思いをしました。二週間で自宅も停電は解消されましたが水は二か月を要しましたが輪島と珠洲の通水が完了したのは5月末、当然ながら支援物資での水は貴重なものでした。

ここ数年能登町や珠洲市を起点とした地震が頻発していたので、我が家でもランタンを各部屋に装備して水は箱単位で備蓄してありましたがペットが居るために避難所には行けずカセットコンロで鍋を使ってご飯を炊きすべてをおにぎりにして保存です。カップラーメン等も数日間分はあったのですが無くなる寸前に富山や岐阜、金沢の友人達が車に積めるだけの水や食料、カセットボンベに簡易トイレにガソリンまでを持って来てくれた時は命が助かったとさえ思ったほどです。

まだ我が家は震災に対しての備えや備蓄はあっ

た方ですがそれでも長期間になるとあれもこれも用意しておけば良かったと思うのです。

能登本部管内の組合員の安否状況は能登本部職員が手分けして確認作業を行ってくれました。自宅も会社も倒壊し避難所にいる方全組合員が被災してしまいました。今年、来年とこの組合員の皆さんを支援する方法を見つけないといけません。一部にはこの際事業をやめようと思うとの声もありますが出来る限りの支援をしたいと思っています。

普段から防災グッズを用意しておくべきと言われてますが今回ほど日頃から災害が発生したらどんなものを準備しておかないといけないと改めて見えた気がします。

普段から用意しておかなければならない物・水(2ℓボトルで2箱)・食料(カップ麺、缶詰、レトルト食品、パックのお米類は一週間分)・カセットコンロとカセットボンベ(10本)・アウトドア用クッカー(鍋2個)・懐中電灯(乾電池予備10本)・ランタン(3個予備電池)・ソーラーバッテリー・ロープ(6mm20m)これが我が家で普段からリュックに入れてあります。車はいつも満タン状態にしています。今回自前で用意していなかった物で助かったのは友人が持って来てくれたカセットボンベのヒーターでした。今回みたいな冬季の災害では停電になった時、暖を取るに小型のカセットヒーターは重宝しました。

列記した防災時のグッズ、考えれば当たり前の物ばかりですが最低一週間分があればしのげます。この他にも家族親戚、社員の連絡先を携帯電話に控えておく他に紙に書いたものをリュックに入れておけば役に立ちます。

「震災は忘れた頃にやってくる」普段からの準備が必要です。能登半島地震の復旧・復興には10年以上の歳月が掛かると思います。互いに助け合い前に進みたいと願います。

「事業継承について思うこと」

副理事長兼
金沢本部長
(電設担当)

柚 木 賢



盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。1月1日の能登半島大地震から早半年がたちなかなか進まない復興事業と時が過ぎる速さには、はがゆい思いです。金沢本部みなと支部、西部支部合同の夏季安全祈願祭を7月9日に行い今年下半期の安全と震災に合われた能登地域の一日も早い復興を願うばかりです。

さて、我々石川県電気工事工業組合員は、何名かご存じでしょうか？令和6年6月現在で412名です。平成8年に550名とピークとなり、その後毎年数名ずつ減少しており平成8年と比べますと約25%減となっています。ただし電気工事に関わる従業員数を見ますと減少しておらず、むしろ徐々に増加しております。いったい何が原因でそうなるのか、一言では言えませんが、少人数の事業所が何らかの理由で廃業あるいは吸収合併されていると思われる。最近事業継承についての相談をよく耳にします。仕事はコンスタントにこなしているのになかなか利益が上がらない又、仕事は順調にいつているのに、後継者がいない（息子、親族は電気工事に興味がなくほかの仕事をしている。）等々、確かに人口減少、

少子化になり担い手不足、人手不足と言われておりますが、我々電気工事業界は、他の建設業から比べますとまだまだ仕事量もあり将来的見通しも決して悪くないと思います。何が原因でそうなるのか、原因はただ一つ経営者の認識不足、後継者の育成を怠ってきたからです。

先ず経営者は早いうちから後継者について意識しなければいけません。親族にするか、従業員の中から選ぶのかそこらへんは何方になってもいいよう考えましょう。

又、それとなく暗示をかけるよう後継者候補に接します。又、仕事の愚痴やお客様の悪口は、絶対に禁物です。（後継者候補はそこらへん、敏感に感じ取ります。）又、過度に期待したり責任を持たせるのもよくないと思います。

以上これは私個人的な考えです。私も父から事業を引き継ぎました60を過ぎ後継者とのバトンタッチを常に考えています。経営者として、廃業という選択もあるでしょうが、従業員のこと、家族のことそして何よりこれまで御ひいきにして頂いたお客様の事を考えて決断したいものです。



常務理事(企画担当)

竹内 和良

日に日に暑さが増して、過ごしにくい日が続いています。組合員の皆様には如何お過ごしでしょうか。

83期通常総代会も令和5年度事業報告、財務諸表など各種議案を承認可決して、無事終了する事が出来ました。

そのような中ですが、石川県での大きな出来事と言えば、1月1日に発災しました令和6年能登半島地震で行方不明者を含めて多くの方が亡くなられて、能登地方の組合員の皆様が大変な苦勞をされております。それと、石川県全地域の組合員にも罹災された方が居て、大変な日々を過ごされております。地震発生直後から組合員の事業所が北陸電力グループ各社からの要請により能登地方に派遣され、劣悪な環境の中で復旧復興に努められております。これから先、どれ位の期間がかかるかは見通せませんが、ふるさと石川の為に組合員各企業が力を合わせて取り組んで行かなければいけないと思います。

その様な状況の中ですが、全国の組合でも組合女性部の設立が増えて、全国的にも組合女性部の活動が徐々に軌道に乗り活発化しています。

我が石川の女性部の活動も頼もしく新しい視点と意見提案で石川県電気工事工業組合の活性化の原動力になって頂きたいと強く期待しております。

又、全国的に大きな災害が増えてきておりそれに対する備えとしてBCP（事業継続計画）を石川県電気工事工業組合でも取り入れて組合員企業にも取り組んで頂き、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続や早期復旧をする為の方法、手段を取り決めて計画して行ける様組合が助言や手助けをして行きたいと思いまので、組合員各位のご協力をよろしくお願い致します。



常務理事(総務担当)

米澤 直明

盛夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

元日に発生した能登震災から早くも半年が過ぎました。犠牲になられました方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災なされた皆様にはお気持ちを落とされずに一日も早い復興を御祈念・御支援申し上げます。思えば私共組合員一同年始より、配電業者は被災地の停電復旧から、内線業者は被災家屋の点検修繕・仮設住宅工事まであらゆる方面で御尽力なされて頂いております。復興への道半ばでございますが、なお一層の支援を共に行って参りましょう。宜しくお願い申し上げます。

今夏も高温傾向に推移しております。暑くなれば気持ちも散漫になり注意力が無くなり、普段行っていることを省略し思わぬ事故を誘発するケースが考えられます。例えば昨夏に発生した「低圧手袋を装着せず充電ケーブルを切断し感電死亡」事故です。安全配慮（低圧手袋、絶縁防具、停電作業、監視者の設置）等、一つでも履行していれば死亡事故には至らなかったのではないかと考えますと、無念でなりません。

夏場の暑い時期は特に集中力が長く続きませんので、作業前にあらかじめ「ここは危険のポイント！」を拾い出し、その危険作業に至るとき全集中を試みるように緩急つけた作業に取り組み、途切れがちな集中力を維持して行えばいかがでしょうか。

私たち電気に携わる者として、お客様に適正・安全に電気を使用していただくとともに、私たち自身が電気事故・労働災害の防止に積極的に取り組んで参りましょう。

今年もまだまだ暑い日が続きますが、熱中症のリスクを回避され、どうかご安全に業務に勤まれます様に、御祈念申し上げます。



常務理事(広報担当)

上 村 和 弥

大暑の候、組合員の皆様におかれましては日々業務に精励のことと存じます。

引き続き広報委員会を担当させていただきます上村です。

「令和6年能登半島地震」におきましては、被災された組合員、ご家族におかれましてはこの度の震災に際し、心よりお見舞い申し上げます。多くの組合員ならびに事業所が被災し、まだまだ復興の道半ばであろうと思います。そうしたなか第83期通常総代会も、無事終了し組合員の皆様に感謝いたしますとともに皆様方の一日も早いご復興をお祈りいたします。

昨年も『広報委員会は組合「こうほう」を通じてあらためて能登、金沢、加南3本部が結束し、チーム石川として活動、前進できるよう「役立つこうほう」をめざしてまいります。』と書かせていただきましたが今回の震災にあたりより一層心に強く思った次第であります。

昨年は新しい媒体ということでTikTok広告を出させていただきましたが、そもそも業界に対する認知度の向上、また電気工事工業組合活動の存在・活動の周知という点で言えば、まだまだ出来ることがあるのでは？とっております。

そのためにも組合員の皆様のご意見、ご要望を寄せていただきますようお願いいたします。

時節柄全国安全週間も終わり、まだまだ熱中症対策が必要とされる時期ではありますが皆様の健やかな事業運営を祈念いたしますとともに、組合事業運営にもご協力賜りますようお願いいたします。



常務理事(ESCO担当)

宮 下 誠 次

炎暑の候、皆様におかれましては益々の御健勝のこととお慶び申し上げます。

元旦の能登半島地震では、多くの組合員、従業員そしてそのご家族のみなさまが被災されたことに改めてお見舞い申し上げます。

私も地震発生直後、家族の安否、従業員の安否の指示、会社の被害状況の確認を行い、早々に被災地域に向け、出立出来るよう、水、食料、ブルーシート、寝袋、カセットコンロ等、必要と思われるものを確保しました。

ただ金沢市より南の被害は大きくないとの思い込みもあり、金沢本部のことは組合職員が情報収集を行っていると思っていたのですが職員の被災や能登に帰省しているなどは頭になく、組合機能の一部が一時的にも停止していた期間があったのではないかと思います。私自身、反省しているところです。組合のBCPも必要と思いました。

さてESCO事業も7年目となり、維持管理面で新規や灯具不良の場合、自動点滅器内臓のLED防犯灯への切替を進めることで、将来的なESCO事業での不点对応の大幅な削減を図ることでその削減される費用を他の面でESCO施工者様に還元していきたいと思っておりますので引き続きよろしくをお願いいたします。

最後になりますが暑さに体調を崩されませぬよう、特に環境の悪い被災地での復興作業等では、「作業安全を第一」によりしくお願いいたします。



常務理事(厚生担当)

伊藤 隆行

この度の総代会において、役員改選により厚生委員長を拝命しました。その役職の重責を感じています。

1月1日の令和6年度能登半島地震から6か月が経過し、ゆっくりと復旧作業が進んでいますが、復興はいつになるのだろうと日々感じています。

電気工事業にはインフラ整備を担うという社会的責任を果たしていかなければならないと思っています。そのためには、社会の信頼を得なければなりません。生きがいと誇りをもって働ける力強い業界となるためには、作業員の健康および安全の確保を第一に考えていくことが必要となります。皆様からご指導とご協力を頂きながら、職務を全うしていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

最後に、この度の地震災害において、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げますと共に1日も早い復旧、復興を願っております。



常務理事(電力部長)

田中 学

いよいよ夏の到来を迎え、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

元旦に発生した能登半島地震から半年が過ぎました。改めてこの震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々にお見舞い申し上げます。また、早期の停電解消、電力設備の応急復旧にご尽力いただきました施工会社の皆様に深く敬意を表し感謝を申し上げます。

昨年は地震、水害、雪害と自然災害の多い年でしたが、今後もいつ、どこで、どのような災害が発生するのかわかりません。洪水や台風、大雪などの災害は事前情報によりある程度の予測ができますが、突発的に発生する地震を予測することは不可能です。今回の地震は数千年に1度の事象との評価もありますが、地震大国日本の宿命として避けて通ることはできません。今回の地震を振り返り、今後に生かす教訓を得ることが重要であると思います。

さて、昨年度の配電工事を振り返ってみますと、安全面においては軽微な災害が発生したものの重大災害は発生しませんでした。また、施工品質面においては一昨年より重大指摘件数は減少しましたが、不良工事が増加傾向にあります。

物理学者寺田寅彦の有名な言葉に「天災は忘れた頃にやってくる」という警句がありますが、自然災害も労働災害も同様と考えています。自分に都合のいいように過小評価せず、正しく物事を恐れ備えを怠らないことが肝要です。

今夏も暑さが厳しいとの予報です。基本ルールを遵守し、慌てず急がず、一動作一確認で厳しい夏をゼロ災で乗り切りましょう。



県青年部長

中 村 栄太郎

令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々とそのご家族に対しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。

また、全国の青年部より義援金、励ましの言葉をいただきましたことをこの場を借りて報告させていただきます。札幌電気工事共同組合青年部にいたっては5月17日に当組合会館に来られ、能登の青年部員に役立ててほしいと義援金を持参されました。能登方面の視察と現地青年部員の声を聞きに来られました。昨年6月の交流をきっかけに青年部員のことがどうしても気になったとのことでした。札幌協青年部はじめ全国青年部員の横のつながりに感謝致します。

今年度より、青年部員間の交流、結束を深める活動として各本部総会に各本部の副部長以上に出席していただきました。今までないスタートを切ることができました。

今年は技能競技大会が開催される年になります。柚木本部長を中心に技能競技大会プロジェクトチームを立ち上げ、取り組むことになりました。青年部員の中からもプロジェクトチームのメンバーとして多くの方が参加されています。お忙しいとは思いますが、皆さんの協力をお願い致します。9月12日の北陸予選、11月28日の全国大会で喜びを分かちあえるように頑張りましょう。

10月5日には北陸電工連青年部連絡協議会 第6回会員大会（富山）が、11月29日には全日電工連全国青年部協議会 第6回全国青年部会員大会（横浜）が開催されます。多くの仲間と意見交換を出来る場になります。その意見は重要な情報源となり、さらなる成長に向けた気づきの場になります。皆で有意義な時間を過ごしたいと思っております。多くの青年部員の参加をお待ちしています。

今年度も各本部の事業を互いに共有しながら、女性部とも連携し活動を展開していきましょう。引き続き皆様のご協力をお願い致します。



県女性部長

中 村 志 保

大暑の候 関係者の皆様方におかれましては益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

まず初めに、2024年1月1日午後4時10分に「令和6年能登半島地震」が起きました。

一日も早い復興を心より願い被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和5年3月3日に、全国で11番目になります石川県電気工事工業組合女性部が設立されました。女性部に関わるたくさんの関係者のみなさまの大きなご尽力を頂きながらスタート致しました女性部。おかげさまで2年目を迎えることができました。

この一年、私たち女性部はたくさんの経験・そして多くの方々との素晴らしい出会いをいただきました。

北陸電力女性社員様との意見交換会、青年部と合同での高校生意見交換会、小学生とのエレキスクール、そして福島県での全国大会。

初めて尽くしの一年でしたが、女性部としての役目を一人一人が全力でやりきりながら成長できた価値のある一年になったと感じております。

男性社会の電気工事業の中で、女性としての役割は何なのか？

その課題の答えを探しながら、芽を出し、やがて花を咲かせ続ける事ができる組織を女性部執行部を柱に女性部みんなで力を合わせながら作り上げていきたい！

その思いを強く心に刻みながら走り続けていきたいと思っております。

私が青年部時代、たくさんの男性の中で女性部員は私たった一人という中で活動をさせていただいておりました。その中で身に染みて感じたことがあります。それは電気工事業界には男性がとて

も多い業界ならではの問題＝女性と出会える機会が少ない！ということでした。

せっかくいい腕を持ち素晴らしい企業に働いていても女性との関りが少ない事で出会いがなく、独身でいる男性が多く、私一人の力ではとうていその問題に解決策を求める行動を起こすことが出来ず、彼らの存在をとってももったいない！と感じておりました。

でも現在、女性部が立ち上がり、やっと行動を起こす事ができると考えました。

それは、これからの女性部独自の継続企画として、男性社会の電気工事業に新しい風を吹かせるための出会いの場所を提供するその名は「電＋絆 party」企画です。

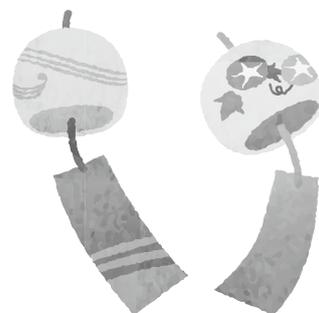
クリスマスも近いこともあり開催は、12月に決定いたしました！

この企画に際し、女性部執行部を中心に、女性部相談役、そして青年部の協力を頂きながら実行していきたいと考えておりますので、皆様方のご尽力をどうぞ宜しくお願い致します。

結びに、私たち石川県電気工事工業組合女性部は、これからこの業界に新しい風を送るためにたくさんの企画を作りそして実行していこうと考えております。

男性中心の業界で女性としての役割、そして女性にしかできない事を多く作り上げながら少しずつでも、この業界が、女性が、輝ける最高の場所にして行く事を信念とし、みんなで力を合わせ全身全霊で頑張るつもりですのでどうぞ多大なるご協力、そして心からのご指導を今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ありがとうございました！



第83期 通常総代会

去る6月3日(月)金沢東急ホテルにおいて、第83期通常総代会が開催されました。

当日は、総代62名(内、委任状10名)出席のもと、議案が審議され、原案通り承認された。

- 令和5年度事業報告並びに財務諸表承認の件
- 共済会規約一部改正の件
- 女性部規約制定の件
- 令和5年度事業計画案並びに予算案承認の件
- 役員報酬決定の件
- 組合加入金決定の件
- 組合借入金残高最高限度額決定の件
- 1組合員に対する貸付最高限度額決定の件
- 理事補充の件

総代会議長に金沢本部の桜田 剛氏が選出され、議案審議が行われた。

始めに米沢理事長からご挨拶の後、令和5年度事業の概況報告が説明された。

概 況 報 告

組合員の皆様には、日頃から当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

元日に能登半島を襲った大地震、県内過去最大のM7.6という激震であり、当組合員に於いても全壊等、多数の方々が被災されており被災者の皆様方に心よりお見舞い申し上げます。復旧については、電力送配電設備の他、仮設住宅工事や低圧お客さま設備を対象とした修理等を実施しており復旧応援に駆けつけた組合員各位には、深く敬意を表します。また、現在も全国からのボランティアの応援を得ながら復興に向け懸命に取り組んでいるところであります。

さて、昨年の地域経済は、行動規制の緩和により交流人口が回復し、社会経済活動の活発化がみられてきた一方、国際情勢の不安定化やエネルギーと原材料の高騰、慢性的な人手不足への対応など、依然として厳しい環境にある中で少しずつ着実に回復してきていますが、能登半島地震の影響が懸念されます。

当組合関連では、8月に内線工事に於いて、低



圧ゴム手袋未着用での充電作業を実施していたために、感電死亡という重大災害が発生しました。尊い命が奪われ大変悔やまれる事であります。9月には、加南本部の第Ⅱ期工事が完了し新倉庫が完成し組合員の利便性が更に向上したと思われま。10月には、第35回電気工事業全国大会が福島県で開催され、第6回目となる「優良事業工組表彰制度」の安全部門で当工組の「組合安全衛生大会から始まる安全行動計画実施」が、組合活性化研修会の発表事業に選出され銀賞を受賞しました。

組合員の高齢化、後継者不足による退会者に歯止めがきかず、組合員の増強を図る目的として新しい組合員募集パンフレットを作成し各本部へ配布しました。また、電材卸組合様へも配布し新組合員勧誘の協力をお願いしたところです。さらに、魅力的な組合事業により組合を活性化させ新たな組合員獲得に繋げていきたいと考えております。

我が国は、かつて経験したことのない人口減社会を迎えつつあります。今後の業界発展のためには、電気工事技術者不足に対する担い手確保・育成対策など急を要する課題への対応、女性活躍推進、外国人材の活用などが求められています。また、今年度から適用となる働き方改革への対応も緊急を要します。課せられた課題に対し「ひとつ、ひとつをそれぞれの組合員が自分の問題である」と自覚し解決策をめざしていただきたいと思ひます。

組合員の皆さんが力をあわせ共に考え行動することで地域に貢献し信頼される組合を目指したいと考えます。尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

令和5年度 事業概要

○組合員 新加入者3名、脱退者7名、
期末において414名。

○出資総額 173,880千円、加入積立金額174,090
千円、合計 347,970千円。

○電力受注工事 令和5年度配電工事発注工量は
計画の94.8%、前年度対比で102.0%の竣工
実績となりました。工費は2,814.2百万円、副
資材費699.2百万円、工事費合計では3,513.4
百万円の竣工額となりました。

○計器取次店業務 計器取次店業務では、金沢
本部における取次件数が大型マンションなど集
合住宅の申込みが好調であったため、受託手数料
も前年度に比べて大幅に増加しました。

本部名	取扱件数(件)	受託手数料(千円)
金 沢	9,318	11,959
能 登	1,102	2,136
加 南	2,512	3,496
合 計	12,932	17,591

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査におい
て受託件数6,794件(前年度対比106.4%)、受
託手数料27,010千円、並びに定期調査において
受託件数54,497件(前年度対比105.2%)、受託
手数料53,958千円、調査業務として80,968千円
の実績となりました。

竣工調査は、金沢事務所管内で大型マンショ
ンや金沢市街路灯のLED化が竣工し、調査件
数が前年度を上回りました。また、定期調査に
おいても調査件数が前年度を上回りました。受
託手数料では、受託単価の改定により竣工調査
受託手数料が前年度に比べて大幅に増加しまし
た。

本部名	実施件数(件)		受託手数料(千円)	
	竣工調査	定期調査	竣工調査	定期調査
金 沢	4,619	35,464	19,194	35,632
加 南	2,175	19,033	7,816	18,326
合 計	6,794	54,497	27,010	53,958

○配電工事施工品質評価実績

(単位：件)

評価分類	評価項目	R 4	R 5
取引停止 措置	取 引 停 止		
	厳 重 注 意	1	1
事故発生	災 害 (不 休)		2
	停 電 ・ 漏 油		
安全パト ロール	重 大 な 指 摘	6	
	軽 易 な 指 摘	1	1
竣工検査	不 良 工 事	3	5
	注 意 工 事		1
苦 情	苦 情 発 生		
合 計		11	10

○自主安全管理活動 安全管理は、「基本ルー
ルの遵守徹底」を最重点実施項目として位置付
け、諸施策に取り組んできましたが、配電委託
工事において2件の労働災害が発生しました。

配電委託工事では、電線被覆の剥ぎ取り時
における電工ナイフによる災害の他、深夜作業時、
側溝に足を踏み外す災害が発生した。電工ナイ
フによる切創災害は毎年発生しており、また、
側溝に足を踏み外し発生した災害では、統計上
は軽症災害であるがアキレス腱断裂の大怪我と
なった。

これらの要因としては、基本ルールの不遵守
に加え、経験不足や危険予知の低下、そして、
何事も他人任せにする傾向にあることが考えら
れる。組合員一人ひとりが、法令・ルールの遵
守を徹底し、危険予知やリスクを想定した積極
的な行動を実践する必要がある。

自主安全パトロールでは、令和5年度の重大
指摘事項は昨年から12件増加し42件となりまし
た。内訳として、外線工事では災害につながる
指摘Aが4件、災害につながらない危険な行為
である指摘Bは34件で、班長ならびに班員相互
の声掛け及び現場管理が適正であれば防ぐこ
とができた内容が大半です。

また、引込線での重大指摘は4件で、何れも
指摘Bで充電部の防護不足や高所車のブームが
道路横断した状態で作業を行ったこと等による
ものです。

軽易な指摘を合わせると計119件の指摘が発生しましたが、作業区画標識の不足や交通整理員に関するものに加え、5m以下でのランヤードの不適切な使用（廻し掛けしていない）や高所作業車へのバケット乗込み時の未使用などの指摘が依然として発生しており、引き続きパトロールで繰り返し指導していく必要があります。

なお、能登半島地震の影響から下期パトロールの出動回数が上期に比べ低調な結果となりましたが、今後も労働災害の防止と施工品質向上のため、関係者が同じ意識のもと積極的に関与し、取り組む必要があります。

○保守管理業務 保守管理業務については、受託契約件数は期首560件、期末においては573件となり、13件（締結28件、失効15件）の増加となりました。近年は建物改修等により、一般用電気工作物から自家用電気工作物に変更されるなどして、減少傾向が続いておりましたが、マンション一棟の新規契約があったことから、増加となりました。しかし、減少傾向は続いていることから、引き続き、特に官公庁関係を主体に陳情を重ねてまいります。

○教育・資格取得講習 令和5年度の第一種電気工事士定期講習は、8回開催し639名（金沢会場6回500名・能登会場2回139名）の方が受講されました。インターネットを利用したオンライン講習が開始され受講者がオンライン講習、対面講習の選択ができるようになり利便性向上につながっています。

全国的に増えている定期講習は、電気保安の確保ならびに施工品質の向上、さらには電気工事士の資質の向上を図るために必要不可欠な講習であります。当組合では、「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」を全組合員にお願いしています。今年度も引き続き、まだ登録されていない工事士の皆様、新規取得者の皆様には、是非とも「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」をお願い致します。また、配電関係教育は、施工者認定制度への対応教育に加え、中堅・若年層における専門知識と技術力の向上、かつ、組合全体の施工力強化と施工品質向上を目的に実施しました。その他、労働安全衛生規則の一部改正に伴い、テール・ゲート・リフターの作業に従事す

る場合、特別教育を実施することが義務づけられた事で新規に教育を実施しました。

○電気工事士免状発行等業務 電気工事士免状発行等業務については、第一種電気工事士免状の取得に必要な実務経験年数が「5年以上」から「3年以上」に短縮されてから発行件数が増加しました。受託手数料については、プラスチックカード化に伴い受託単価が増額したことから増加傾向にあります。令和5年度も予算通りの収益計上ができました。本事業は全国各工組で取り組みが進められています。

令和6年度も当組合での受託が決定しており、引き続きこの事業を継続することにより組合の存在意義を大きくアピールしていきます。

○金沢市LED防犯灯ESCO事業 ESCO事業は、10年間にわたる維持管理業務の6年が終了しました。令和5年度は、金沢市からの新規取り付け依頼灯数134灯、独立柱新規取り付け依頼本数17本に対応しました。また、修理依頼による出動回数は481回に上り、主な修理内容では、点滅器交換322件、灯具交換72件、ヒューズ切や向き替えなど146件に迅速に対応しました。その他、アーム型水銀灯の撤去やポール移設、稲作対策等、町会と都度協議しながら本事業を進めています。

毎日町会から問合せや修理依頼があります。本事業以外の街灯の問合せも多数寄せられています。今後も、安全で安心な街づくり推進に心掛け取り組んでいきます。

○電気使用安全月間 令和5年度も8月に電気使用安全月間運動を実施しました。

主な活動内容は、金沢本部管内では街路灯の清掃・点検を金沢・白山・内灘の3カ所で行った他、仮設臨時施設の点検等を行い、能登本部管内では電気工事に関する無料相談所の開設等、加南本部管内では重要文化財の設備点検、児童募集ポスターの配布を実施しました。その他、各本部でポスターの掲示とチラシ、リーフレットを配布し電気使用安全月間のPRを積極的に展開しました。また、青年部、女性部を中心にエレキスクールを3本部で開催し、子供たちに電気の安全な使用をPRしました。

○**広報活動** 広報活動と致しましては、組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。テレビCMについては、「電気のフラメンコ篇」、「石川電気安全サービス“電気設備は大切な財産です”」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポットで放映いたしております。是非ご視聴されますようお願い致します。

また、初の取り組みとして、中学・高校生に向けた業界PR動画を数種類作成し、夏休みの期間にTikTok広告を出稿しました。利用している県内の中学・高校生のほぼ全員が視聴したと推察され、傾向としては“働くこと”よりも“電気に対する考え方や内容”に興味があった模様です。若年者にさらに興味を持ってもらうために今後も継続し中学・高校生向けのPR活動に取り組んでいきます。

○**材料供給事業** 材料供給事業については、本年度651,341千円（副資材643,532千円、内線4,805千円、一般3,004千円）の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○**事業資金の貸付** 事業資金の貸付けについては、諸般の金利水準等の情勢を考慮し貸付金利率を前渡金3.5%で運用し、年度中に総額39,500千円の貸付を行いました。また、一般貸付及び年末特別貸付については、ご利用はありませんでした。

○**福利厚生** 福利厚生関係については、年度中に組合員2名が他界されました。心から哀悼の意を表します。組合共済会・互助会では、7月に発生した大雨災害で1件、1月に発生した能登半島地震で124件、見舞金として計4,860千円を給付しました。例年実施しております健康診断の助成は1,576名に対して給付を行いました。また、組合員を対象としたインフルエンザ予防接種は8名の方から申請がありました。

全日認定制度は、多くの組合員様にご利用いただいております。第三者損害賠償制度、業務災害補償制度、組立保険制度、取引信用保険制

度、更に福利厚生の一環として利用できる「グループ共済制度」「生活総合保険制度」など、多様なニーズに対応する制度がそろっております。スケールメリットを活かした加入費で充実した補償内容となっております。各制度への中途加入も随時受付し加入促進に努めておりますので、是非、ご一考下さい。

○全日電工連保険制度

加入状況（令和6年3月現在）

	第三者賠償	業務災害	組立	取引信用	グループ共済	生活総合
加入者	315社	153社	44社	2社	221社	1社

令和5年度 保険金・給付金支給状況

種別	給付金	
第三者損害賠償	14件	33,193,948円
業務災害補償	11件	1,255,000円
グループ共済	2件	6,000,000円

○**北陸電力持株会** 北陸電力持株会は昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで令和6年3月末会員は65名、株式数725,282株を所有しております。

北陸電力との関係を一層密にし、協力体制を確立すること、また、少額資金を継続的に積み立てることによる会員の資産形成を目的としております。更に多くの組合員が加入されますようお願い申し上げます。

○**青年部** 青年部は、女性部と合同で「組合のメリットをブラッシュアップしよう」と題し、意見交換を行いました。その意見を取りまとめた提案書を受け取りました。将来の電気工事業界を担う気概を感じ入りました。一つ一つ精査し、実現できるものは実現していく所存です。今後とも引き続き、青年部の諸活動に対し、支援をしていく考えであります。

○**女性部** 女性部は、昨年3月に設立以来、北陸電力株式会社石川支店の女性従業員と意見交換や積算講習会を実施しました。その他、青年部事業にも積極的に参画するなど、活発な活動を実施しております。今年度も引き続き活発な活動を期待し、支援をしていく考えであります。

令和5年度 事業報告書

組合員事項

期首 418名 新加入 3名 脱退者 7名 期末 414名

〔新加入者名〕

No.	事業所名	代表者名	所在地	本部	支部
881	(株) 電気屋達	南 達也	金沢市二口町口72-1	金沢	西部
882	小林電気	小林 裕	金沢市菊川1-20-18-1	金沢	兼六
883	(株) e-アシスト	堀 泰幸	白山市相木町532-6	金沢	白山

〔脱退者名〕

事業所名	代表者名	本部	支部
沢 田 電 機	沢 田 和 子	金 沢	犀 川 東
御 祖 電 気 商 会	小 石 勇	能 登	七 尾
鵜 川 電 気 商 会	奥 野 茂	能 登	珠 洲
高 山 電 気 商 会	高 山 洋 幸	加 南	小 松
山 本 電 設	山 本 寛 也	加 南	小 松
(有) 向 電 気 商 会	向 良 雄	加 南	加 賀
(有) 表 電 機	表 元 三	加 南	加 賀



令和6年度事業計画

新型コロナウイルス感染症が、第5類へと移行しコロナと共生できる環境が整い社会経済活動は着実に回復しています。明るい兆しが見えたかと思う矢先に能登半島地震が発生し復興に向け、行政や他の団体等とも協力し取り組んでいるところです。

また、今年是我々の地域にとっては、かねての念願でありました北陸新幹線が敦賀まで開業された記念すべき年であり延伸開業効果により、地域経済の更なる飛躍が期待されます。

さて、昨年は「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目と位置付け、諸施策に取り組んできましたが、残念ながら配電委託工事で2件、内線工事で10件の災害が発生しました。これらの要因は、基本ルールの不遵守、経験不足や危険予知の低下、そして何事も他人任せにする傾向にあることが原因と考えられます。

今年度も「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目として取り組みます。事業主の方には、一層の安全・施工品質向上、労働災害の無い安心して働ける職場環境の実現に向けた取り組みをお願いします。

近年、後継者不在から事業を廃業又は縮小し組合を脱退するケースが目立ってきており、組合員の減少対策として新規加入者の促進に取り組む必要があります。また、技術者の高齢化と若い世代の労働者不足が顕著であり、人材確保や次世代の担い手を育てることが不可欠です。将来の人材確保対策として取り組みを行っている業界理解促進交流事業「高校生との意見交換会」を引き続き実施し、電気工事業界の実態や魅力を発信していきます。その他、従前から行われております諸事業については、組合員各位のご協力の下、成果があがり組合運営の充実がなされるよう取り組みを進めて行く考えであります。

今年11月には、第5回電気工事技能競技全国大会が横浜アリーナで開催されます。全国の精鋭が集い日本一の技の能力を競い合います。今大会に向け、「技能競技全国大会対策プロジェクトチーム」を立ち上げています。北陸ブロックでは、9月に予選会を開催し各県の全国大会出場者を決定します。日頃の技を競い合うと共に技術レベルの向上を図る機会であり、熱い戦いが繰り広げられることを期待します。

電気工事業界は、電気を安全・安心に提供していくという「使命」と社会インフラを担うという「誇り」があります。不断から電気事業全般に幅広く応える姿勢を持ち、一層の努力を重ね地域社会の皆様への信頼に応えていきます。被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りし、今年度も引き続き組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

重 点 目 標

1. 基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅

- (1) 高所作業車が使用できない現場での梯子・脚立の使用禁止（配電施工者）
- (2) 内線工事における高所作業では原則「立ち馬」を使用し、やむを得ず梯子作業を実施する場合は可能な限り二人以上で梯子の上下固定を確実に実施する
- (3) 高所作業における墜落防止措置の確実な実施
- (4) 作業前や作業区分変更時におけるKY・TYの確実な実施（一人KY含む）とリスク予知活動の積極的な導入
- (5) 低圧充電作業時における低圧絶縁ゴム手袋着用の再徹底と事業主等の現場指導強化による安全意識の向上
- (6) 内線施工者パトロールの強化（高所作業での脚立使用状況、低圧絶縁ゴム手袋着用状況の確認）

2. 法令遵守と風通しの良い職場環境づくり

- (1) 声掛け、職場懇談会、教育受講者と事業主との面談による成果の確認等コミュニケーションの活性化
- (2) 事業主からの訓示による従業員への行動規範の再徹底
- (3) 各種研修会、教育の機会を捉えた行動規範の再徹底と法令教育の実施

3. 施工品質の向上

- (1) 班長の目視による確認の徹底
- (2) 目視が困難な場合は班員に指示し、報告を受けること「復唱復命」の徹底
- (3) 自問自答、指差呼称による班員一人ひとりの「一動作一確認」の徹底
- (4) 工事における交通法規の遵守徹底（道路使用許可・電柱運搬等）
- (5) トラブル事例と再発防止策の理解促進教育の実施
- (6) お客さま工事不良通知施工者に対する再発防止教育の実施
- (7) 一般用電気工作物調査員のスキルアップ

4. 施工力の確保

- (1) 積極的な声掛けによるモチベーション向上とOJTによる技術指導
- (2) 工具、機械への効果的な設備投資（高経年機材の適切な更新等）
- (3) 各種教育の実施（県工組大-新入社員教育、連合会大-若年者教育、中堅社員教育）
- (4) 高校生との意見交換会による電気工事業界への理解促進活動の推進

5. 交通安全・自主健康管理の推進

- (1) 事業主、安全管理者による安全運転指導の実施
- (2) 安全運転管理者（代行者）による運転者の運転前後の酒気帯び確認の実施
- (3) 特殊車両における特定自主検査（年1回）の確実な実施
- (4) 車両始業前点検の励行と交通KYによる防衛運転の実施
- (5) 定期健康診断の積極的受診と管理監督者の声掛けによるメンタルヘルスケアの実践

6. 組合運営の活性化

- (1) 員外施工者への組合加入の促進
- (2) 青年部・女性部活動との連携強化
- (3) 各種諸行事への積極的参加（石川県電気安全協会・内線工事研究会等）
- (4) ほくりく地域産業企業年金基金事業への協力支援

7. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」への協力支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連携、一層の緊密化

第62回 優良従業員表彰式

102名を表彰

令和6年6月3日(月)に金沢市の金沢東急ホテルに於いて、第62回優良従業員表彰式を開催した。今年度は102名(昨年度より32名増)の方々が、優良従業員として表彰の榮譽を受けた。式典では、米沢理事長から式辞を述べた後、徳田石川県副知事様、中村県中小企業団体中央会専務理事様、米沢理事長から受賞者に表彰状と記念品が授与された。その後、ご来賓としてご臨席を賜った徳田石川県副知事様、中村県中小企業団体中央会専務理事様、木村北陸電力(株)石川支店長様、浅野北陸電力送配電(株)石川支社技術担当部長様の4名から今回表彰を受ける方々への祝辞があり、最後に受賞者を代表して、西野真嘉(昇陽電機(株))が、謝辞を述べた。



表彰を受けたのは次のみなさん。

(敬称略、カッコ内は勤務先)

石川県知事賞(勤続30年表彰)を受賞して



珠洲電気工事(株)
稲 荷 みゆき

この度は、勤続30年石川県知事表彰をいただき、大変光栄に存じます。

私は高校を卒業後、事務職として入社しました。この30年間、私生活では結婚、出産、育児を経験し、仕事との両立はなかなか難しい時もありました。

それでもこうして30年間勤務できたのは、職場の方々や家族の理解と協力があったからこそだと感謝しております。

私たちの日々の生活において電気は欠かせないものです。元旦の能登半島地震では、長期間ライフラインが途絶し今までの生活が当たり前ではないことを痛感しました。電気工事業に携わる者として自分の仕事に誇りと責任を持ち、これからも努力し続けたいと思います。

石川県中小企業団体中央会会長賞(勤続30年表彰)を受賞して



秋田電気工事(株)
中 村 隆 司

秋田電気工事株式会社の中村隆司と申します。

この度の中央会会長賞授

与、心から感謝申し上げます。

私は、35歳で電気の事は丸っきりの素人で入社致しました。当時の社長・専務をはじめ、諸先輩の指導の御蔭で30年と永きに渡り電気工事士としてやって来れました。

今思えば入社7年目に、大型公共工事の現場代理人を任せられ、2年に渡る工期の案件を完遂する事が出来た事が大きな自信になり、これならこの先も電気工事士を続けていく事が出来ると思った事は、今でも覚えています。

今後は、今までに得た知識・経験を生かして後輩の育成に努めて行く所存です。

今回の表彰、誠に有難う御座いました。

これからもご指導下さいます様お願い申し上げます。

◆石川県知事賞

□勤続30年表彰（33名）

○金沢本部（26名）

合 田 克 彦（立野電気工事株）
寺 尾 浩 昭（米沢電気工事株）
牧 野 剛（ " ）
斉 藤 昇（ " ）
本 島 宏 修（ " ）
藤 久 樹（ " ）
中 村 玲（ " ）
羽 場 哲 也（ " ）
梶 岡 耕 一（ " ）
笹 川 亮（ " ）
畑 下 敏 行（ " ）
陸 畑 慎 一（ " ）
松 裕 幸（ " ）
鈴 木 克 治（ " ）
山 下 竜 大（ " ）
平 塚 武 志（ " ）
東 山 誠（ " ）
門 前 聡（ " ）
中 山 雅 博（ " ）
渡 辺 亮 介（ " ）
山 崎 秀 吾（ " ）
細 川 正 和（ " ）
白 鳥 達 也（ " ）
今 村 和 久（ " ）
森 田 茂（ " ）
田 中 康 之（ " ）

○能登本部（5名）

端 眞 信（昇陽電機株）
西 野 真 嘉（ " ）
國 分 佳 英（稲垣電機株）
宮 脇 政 信（ " ）
稲 荷 みゆき（珠洲電気工事株）

○加南本部（2名）

森 明 彦（南大豊電設）
畑 中 恵 子（石川県電気工事工業組合）

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続30年表彰（6名）

○金沢本部（2名）

長 田 宏 輝（米沢電気工事株）
安 達 勝 彦（ " ）

○能登本部（3名）

大 高 勝（昇陽電機株）
奥 矢 信 一（坂室電機株）
桶 屋 敏（ " ）

○加南本部（1名）

中 村 隆 司（秋田電気工事株）

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続20年表彰（16名）

○金沢本部（14名）

田 圃 孝 宜（シグマ電機株）
稲 谷 誠（野口電気株）
大 藤 考 浩（北陸電設株）
奥 村 秀 紀（ " ）
北 野 翔 之（米沢電気工事株）
中 村 郁 也（ " ）
鈴 坂 拓 也（ " ）
岡 村 高 志（ " ）
松 本 有 史（ " ）
高 田 誠 司（ " ）
秋 田 千 絵 子（ " ）
東 山 雄 一（ " ）
佐 藤 真 澄（ " ）
池 本 成 人（ " ）

○加南本部（2名）

山本博人（株今出電気商会）
幸前光洋（株荒河電気商会）

□勤続15年表彰（16名）

○金沢本部（13名）

新田誠実（第一電機工業株）
竹田高志（ ）
前川浩一（株大地電業所）
村田侑一（立野電気工事株）
松岡篤志（米沢電気工事株）
岡田康平（ ）
岡崎大介（ ）
西村涼（ ）
清水優也（ ）
向本賢洋（ ）
東隆之介（ ）
門田丈範（ ）
林宏憲（ ）

○能登本部（2名）

寺谷直斗（桜井電気工事株）
堅田寿（清水電興株）

○加南本部（1名）

西花辰也（株荒河電気商会）

紺谷知也（米沢電気工事株）
清水梢汰（ ）
竹下隼太（ ）
石井敦也（ ）
山辺亮平（ ）
安田愛未（ ）
輪島和仁（ ）
鶴間正晃（ ）
大井智博（石川県電気工事工業組合）

○能登本部（8名）

島本真一（有中島電気工事）
渡部勇太（有漆原電気商会）
土蔵義彦（藤井電気工事株）
大谷清太（ ）
稲垣健（稲垣電機株）
橋本純（珠洲電気工事株）
石田開（昇陽電機株）
佐藤友和（ ）

○加南本部（6名）

南出孝輔（東本電気株）
室隆之（中谷電気工事株）
小路昌彦（株今出電気商会）
林誠都（ ）
大嶧大成（ ）
村井幸弘（石川県電気工事工業組合）

□勤続10年表彰（31名）

○金沢本部（17名）

岩井晋也（桜田電気工事株）
植田裕也（第一電機工業株）
太地裕（ ）
出水奨平（株雄神電業社）
川崎竜二（シグマ電機株）
今村孝徳（吉本電興株）
中村和弘（立野電気工事株）
北野陽一（ ）

	金沢	能登	加南	計
知事賞30年	26	5	2	33
中央会長賞30年	2	3	1	6
理事長賞20年	14	0	2	16
同 15年	13	2	1	16
同 10年	17	8	6	31
計	72	18	12	102

3 本部、全体会議

金沢本部

全体会議開催 5月14日(火)
於 金沢東急ホテル

金沢本部全体会議は、金沢東急ホテルに於いて、米沢理事長ら役員のご出席の下、110名が出席し開催されました。



◆令和6年度 重点目標

「安全基準作業手順の徹底・法令遵守し、
ゼロ災害を目指す！」

(1) 労働災害の防止

- ・指差呼称による一動作一確認の徹底
- ・災害リスクの低減と不安全行動防止のより一層の強化
- ・目配り、気配り、思いやりのある行動

(2) 経営基盤の安定化

- ・人づくり 人材確保と育成に合理的で有効な方策
- ・高校生との意見交換の継続
業界理解促進交流事業については、青年部及び女性部が中心になり将来の人材確保対策として実施
- ・新規組合加入者、事業承継への支援

(3) 電気工事の施工品質の向上

- ・内線工事施工品質の向上のより一層の強化
(計器取付時の誤結線撲滅、計器取付予定日の厳守)

- ・工事技術の向上により第三者損害賠償事故の撲滅(埋設物、埋設配管の調査確認)
- ・北陸電力(株)様、北陸電力送配電(株)様との意見交換

(4) 配電工事施工体制の強化

- ・企業統治(ガバナンス)強化による外線・引込線及び内線の工事技術の向上
- ・自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人材育成教育の充実と技能継承の強化

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・「製・販・工需要開発会議」の継続実施
- ・保守センター業務処理の迅速な対応とフォロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・金沢市E S C O事業維持管理の継続
- ・脱酸素社会に向けての原子力発電の啓蒙
- ・EV充電設備「EV工事プロ」の推進

(7) 地域社会への貢献

- ・電気使用安全月間運動に於ける一般需要家に対する効果的なPR活動
(青年部活動、金沢市の街路灯清掃、小学生を対象としたエレキスクール)

(8) 組合員意識の啓発、PR、広報活動

- ・組合ホームページの充実
- ・高校生との意見交換、業界のPR
- ・女性技術者の人材確保と育成

感謝状贈呈

組合員として20年間組合に貢献された方
(平成15年4月1日～平成16年3月31日組合加入)
㈫小林電設 代表取締役 小林政昭(みなと支部)
三友興業(株) 代表取締役 林 英一(白山支部)

内線工事優良施工者表彰

最優秀賞	宮島電興(株)
優秀賞	大竹電機(株)
優良賞	(株)リョウ

能登本部

能登本部では、4月26日(金)に和倉温泉「加賀屋」会議室において開催の予定でしたが、1月1日に発生した能登半島地震の災害被害により書類審議による議案審議と致しました。

尚決議の結果、賛成多数となり以下の全議案を可決と致しました。

第一号議案

- イ. 令和5年度事業報告について
- ロ. 令和5年度収支決算報告承認の件について

第二号議案

- イ. 令和6年度事業計画(案)について
- ロ. 令和6年度予算(案)承認の件について

能登本部安全衛生ポスター標語 優秀作品者表彰(記念品授与)

○令和6年度重点目標の部

昇陽電機(株)

高めよう 安全意識 ゼロ災害

○スローガンの部

電化ショップモトヤマ

気を付けて! 慣れた作業ほど 安全確認

○行動目標の部

珠洲電気工事(株)

作業前 手順確認 無災害

◆基本目標

「基本ルールの順守徹底による労働災害撲滅」



◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施
- (2) 組合互助会・第三者損害賠償事故などの撲滅
- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部、女性部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害及び交通事故の対策強化
- (4) 積極的な声掛けによるコミュニケーション強化

3. 配電工事技術の向上と不良工事の撲滅

- (1) 配電工事新技術・工法及び新作業手順の的確な対応
- (2) 配電請負工事の施工者評価制度の管理徹底
- (3) 自主検査・後見点検の徹底によるヒューマンエラーの撲滅
- (4) 自主・交差パトロール時での的確な助言と指導事項等の徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得等の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 施工証明書の活用と提案型営業への構築
- (4) 施工品質向上に向けた取り組みと接地不良工事の撲滅

5. 電気設備保守とPRの促進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) オール電化機器の販売促進
- (3) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所等の設置
- (4) お客様工事不良通知設備の改修強化

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 電気使用安全月間における電気使用によるPR
- (2) 組合活性化及び組合のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

加南本部

5月20日(月)

「ゆのくに天祥（山代温泉）」で開催



5月20日「ゆのくに天祥」大会議室において、米沢理事長・田中電力部長らのご出席の下開催し、組合員49名が出席しました。

《議事》

第一号議案

- イ．令和5年度事業報告の件
- ロ．令和5年度活動費収支計算書報告の件

第二号議案

令和6年度組織の一部変更（案）承認の件

第三号議案

- イ．令和6年度事業計画（案）承認の件
- ロ．令和6年度活動費予算（案）承認の件



令和6年度重点目標

1. 自主安全管理活動による基本作業の順守徹底・安全意識高揚からの「ゼロ災」の達成と感電災害の防止
2. 配電工事における安全最優先と基本ルール順守の徹底と施工品質向上の取り組み及び効率化の推進
3. 内線工事における後見点検の完全実施による不良工事の撲滅
(特に計器工事と接地工事)
4. 組合組織の体制強化に向けた組合加入促進対策の立案と実施
5. 電気工事業界の将来認知度向上と就労支援の促進
 - ・SDGs（持続可能な開発目標）を意識した事業活動の構築と実施
 - ・女性など電気工事士の多様化を認識した就労支援
6. 災害時の迅速な情報収集と復旧応援体制の確立
7. 経営力強化の支援と福利厚生制度説明会などの各種講習会の開催と積極的な参加
8. 電気工事士試験準備講習会の実施による資格取得支援
9. 他設備産業との連携強化による業界の地位向上と分離受注拡大
10. 地域行事への積極的参加と地域情報の収集・発信
11. 北陸電力(株)および北陸電力送配電(株)との情報交換による相互協力と連携強化
12. 各委員会・各種行事の参加率向上による組合活動の活性化

電気使用安全月間行事

◇金沢本部

「百万石通り街路灯清掃」

今年も百万石まつり一週間前に恒例の百万石通り街路灯清掃を青年部員22名の参加で行った。安全第一にフルハーネス型墜落制止用器具を着用の

上、街路灯を一基ずつ丁寧に清掃した。村山金沢市長も街路灯清掃に参加したほか、金沢本部役員も道路のごみ拾いを行いまつりに備えた。



〈今後の行事予定〉

8月 内線工事現場臨時施設パトロール実施（金沢本部安全部）

8月24日 エレキスクール

8月 白山市内街路灯清掃（白山支部）

8月 津幡町内街路灯清掃（河北支部）

◇能登本部

〈今後の行事予定〉

- サービス相談所の開設（定置）
日時：令和6年8月1日（木）～8月30日（金）
9：00～16：00
場所：当組合 能登本部
- 小学校児童高学年を対象にしたエレキスクールLED親子工作教室の開催（青年部）
日時：令和6年8月10日（土） 予定
9：00～11：30
場所：宝達志水町
町民センター アステラス
- キャラバン隊による巡回PR（企画広報部会）
日時：令和6年8月10日（土）
9：30～11：00
場所：宝達志水町管内
内容：電気使用安全月間のPR
- 工事現場等パトロールによる指導（内線安全部会）
日時：令和5年8月1日（木）～8月30日（金）
日時未定
場所：当組合能登本部組合員の内線工事作業現場等

◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- 7月中 電気使用安全月間PR大型看板設置（加南本部会館外壁）
- 7月中 管内3市1町に電気用安全月間の趣旨説明と上記ポスターの配布
- 7月下旬 組合員に昨年度電気使用安全月間ポスターコンクール最優秀賞受賞作品ポスター配布
- 8月上旬 重要文化財の電気設備点検
- 8月1日 電気使用安全月間PR活動出発式（電気安全サービス）
- 8月3日 「エレキスクール in のみ」（能美市内小学生児童対象）電気安全使用のPR
- 8月中 車両による巡回PR、チラシ・リーフレット・ツール等の配布
- 8月中 「電気使用安全児童ポスターコンクール」管内小学生児童から月間PRポスター募集
- 8月中 内線作業現場の安全パトロールの実施、安全点検・電気災害防止PR



各本部だより

金沢本部

- 1月4日 仕事始め
- 1月9日 外線・引込線合同部会
- 1月18日 第一種電気工事士定期講習会
(県地場産業振興センター)
- 1月23日 小松工業高校との意見交換会
- 1月25日 内線防保護具耐圧試験
- 1月26日 内線防保護具耐圧試験
- 1月30日 本部役員会 (金沢東急ホテル)
全体会議 (金沢東急ホテル)



- 2月9日 外線引込線合同部会
- 2月13日 県厚生部委員会
- 2月14日 青年部定例会
- 2月21日 配電委員会
- 2月29日 配電自動化更新教育
- 3月8日 県安全委員会
女性部執行部会
- 3月12日 青年部定例会
- 3月18日 県配電委員会
- 3月19日 県総務委員会

- 3月21日 手直し通知業者特別教育
(異業種研修会館)



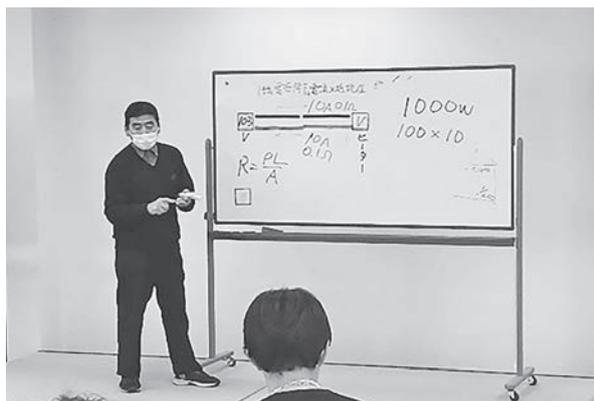
無停電1級(2級)更新教育

- 3月22日 電気安全協力会合同パトロール
- 3月27日 第一種電気工事士定期講習会
(県地場産業振興センター)
- 3月28日 認定電気工事従事者認定講習
(県地場産業振興センター)
- 4月6日 青年部総会 (ホテル金沢)



- 4月9日 電気安全協力会委員会 (電力)
- 4月12日 女性部ランチ会
- 4月16日 工量提示・工事概要説明会
電気安全協力会理事会 (電力)
- 4月18日 本部役員会

4月20日 第二種工事士（筆記）講習会①



5月25日 百万石通り街路灯清掃



4月21日 第二種工事士（筆記）講習会②

4月22日 配電事業主会議

4月23日 監事会

4月24日 県厚生委員会

4月30日 常務会

5月8日 県役員会（金沢東急ホテル）

5月10日 県青年部総会

5月11日 第二種工事士（筆記）講習会③

5月12日 第二種工事士（筆記）講習会④

5月14日 金沢本部役員会（金沢東急ホテル）
全体会議（金沢東急ホテル）

6月3日 優良従業員表彰式（金沢東急ホテル）
総代会（金沢東急ホテル）



6月4日 電気安全協力会委員会（電力）

6月6日 第一種電気工事士定期講習会
（県地場産業振興センター）

6月7日 配電委員会

6月10日 計測器照合試験（上期）

5月15日 外線・引込線新人社員教育

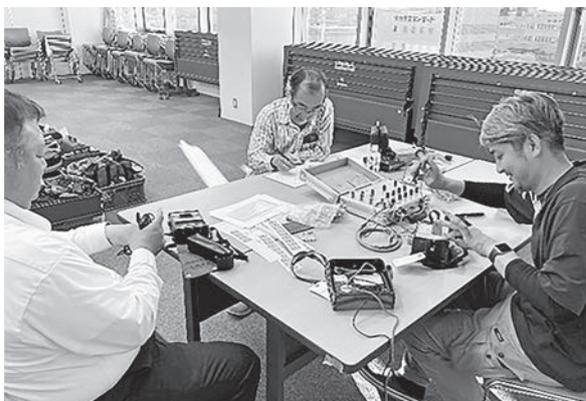
5月16日 外線・引込線新人社員教育

5月17日 外線・引込線新人社員教育

5月18日 第二種工事士（筆記）講習会⑤
女性部総会

5月19日 第二種工事士（筆記）講習会⑥

5月23日 青年部定例会



6月11日 計測器照合試験（上期）

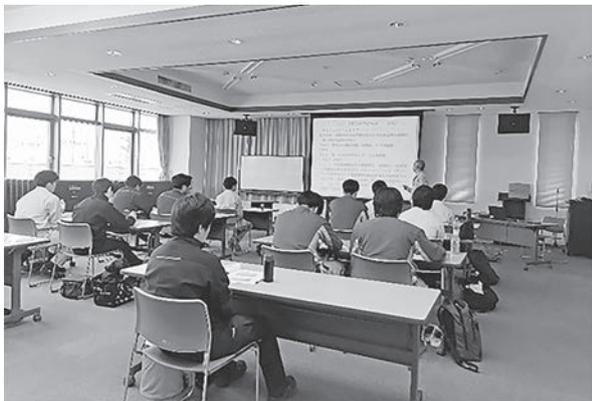
6月12日 計測器照合試験（上期）
いなづま会

6月13日 計測器照合試験（上期）
電気安全協力会研修会
（地場産業振興センター）



県広報委員会

6月18日 内線新人教育



青年部定例会

6月19日 内線新人教育

6月20日 内線新人教育

6月26日 外線・引込線合同部会



能登本部

- 1月4日 仕事始め
- 1月10日 北陸電力挨拶巡回【中止】
- 1月15日～2月9日 計測器等校正試験
- 1月17日 青年部高校生との意見交換会【中止】
- 1月19日 第2回全体会議及び電気エネルギーを考える会【中止】
- 2月1日 支部長会議
- 2月13日 厚生委員会（於：県本部）
- 2月21日、22日 内線工事研究会研修会【中止】
- 2月28日 青年部 青年部員の被災者へ義援金を贈呈する



- 3月5日 株式会社ニチフ 代表取締役社長 高橋伸明様より被災組合員へ差込型コネクターを贈呈される。



- 3月8日 安全委員会（於：県本部）
- 3月18日 配電委員会（於：県本部）
- 3月19日 総務委員会（於：県本部）
- 4月22日 配電工事業主会議
（於：ホテル日航金沢）

- 4月23日 支部長会議
〃 県監事会（於：県本部）
- 4月24日 厚生委員会（於：県本部）
- 4月26日 全体会議【中止】
- 4月30日 常務会（於：県本部）
- 5月8日 県役員会（於：金沢東急ホテル）
- 5月15日、17日 配電工事新入社員教育
（於：県本部）
- 6月3日 総代会、優良従業員表彰式 18名受賞
（於：金沢東急ホテル）





- 6月7日 内線新入社員教育打合せ会議
（於：県本部）
- 〃 配電委員会（於：県本部）
- 6月11日 連合会総会（於：富山市）
- 6月13日 広報委員会（於：県本部）
- 6月19日 中小企業団体中央会会長表彰（組合功
労者表彰受賞）
北陸電気設備㈱ 菊田 三雄 氏
- 〃 第一種電気工事士定期講習会
（於：ラピア鹿島）
- 6月20日 内線工事新入社員教育（於：県本部）



加南本部

1月3日～5日 能登半島地震復旧応援
第一陣外線班・引込線班 15名



1月4日 組合業務仕事始め

1月9日 加南本部新年安全祈願祭・新年顔合わせ・年始挨拶回り

1月10日～24日 計6回
金沢本部へ職員応援（職員被災のため
清算業務応援）

1月11日 トルクドライバー校正試験
加賀支部 39本 /19社（内不良0本）

1月16日 第1回小松支部世話人会 4名
令和5年度総会打合せ

1月17日 テールゲートリフター特別教育 27名



1月18日 組合員研修会

「震災関連報告：令和6年能登半島地震
震応援体制及び組合対応」

報告：今出本部長・村井課長

加南本部新年全体会議

「ゆのくに天祥」 37名



1月23日 小松工業高校意見交換会 20名
電気科2年生42名



- 1月24日 テールゲートリフター特別教育 17名
加賀支部役員会
割烹「味の家の家」4名
- 1月30日 小松労働基準協会 定例理事会
テールゲートリフター特別教育 19名
震災応援内線設備不良箇所対応
～2/2 2名



- 2月1日 令和5年度小松支部総会 「一浪」
令和5年度事業報告・会計報告
- 2月8日 令和5年度加賀支部総会
「割烹 加賀」
令和5年度事業報告・会計報告
- 2月13日 配電更新教育（無停電・自動化）7名
- 2月15日 小松商工会議所
小規模企業振興委員連絡会
- 2月20日 配電工事保安教育（防護管・営巣巡視）
外線工事施工者
- 3月1日 加賀労働基準協会 理事会
- 3月4日～8日 活線防保護具耐圧試験
- 3月15日 圧縮工具メーカー定期点検
- 3月18日～21日 間接活線工具耐圧試験
- 3月22日 安全サービス意見交換会
非常災害用品購入
- 3月22日 低圧検満施工者会議
- 3月25日 電気記念日記念式典
優良電気工事業者表彰
表電気商会 代表 表 裕
傘寿功労者表彰
おもて電気工業所 代表 表 建男

- 3月26日 石川県電気安全協力会小松地区本部
事務局会議
- 4月8日 第1回執行部会 5名
運営諸般について
- 4月11日 トルクドライバー校正試験
小松支部 59本（内不良0本）
- 4月15日～17日
仮設開閉器・リードケーブル耐圧試験
奥能登震災復旧関連視察
- 4月17日 石川県電気安全協力会小松地区本部
事務局会議
第1回総務委員会 7名
運営諸般について
- 4月18日 第1回配電災害対策委員会 11名
運営諸般について
- 4月22日 県配電事業主会議 ホテル日航金沢
- 4月23日 労働保険年度更新事務受付 43社
- 4月26日 小松労働基準協会 理事懇談会・労務
福祉委員会 小松商工会議所
第1回役員会 15名
運営諸般について
- 4月27日 令和5年度青年部総会
吉田屋山王閣 11名
- 5月7日～26日 第二種電気工事士筆記試験講習
全13回 受講者5名
- 5月8日～14日 高所作業車耐圧試験
圧縮工具圧力試験
- 5月10日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 役員会・監査会
- 5月15日 小松支部世話人会 5名
「クリーンビーチいしかわ in こまつ」
の参加について
- 5月15日～17日 外線引込線施工者新入社員教育
- 5月16日 石川県電気安全協力会小松地区本部
理事会
加賀市防火協会 定例総会
- 5月17日 小松労働基準協会 健康診断団体会議

5月20日 令和6年度加南本部全体会議
「ゆのくに天祥」

- ・ 令和5年度事業報告、決算報告
- ・ 令和6年度事業計画、予算承認



5月31日 小松労働基準協会 三役会
第72回電設工業展視察研修会 11名



6月3日 第83期通常総代会 金沢東急ホテル
6月4日 小松労働基準協会 安全衛生委員会
6月6日 小松労働基準協会 定例理事会
6月8日 クリーンビーチいしかわ in こまつ
安宅海岸清掃 小松支部23名



6月12日 石川県電気安全協力会小松地区本部
事務局会議
小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 通常総会

6月14日 建災防加賀分会 通常総会
加賀分会長表彰：(株)荒河電気商会

6月15日 第78回北電工組親睦ゴルフコンペ
片山津ゴルフ倶楽部西コース 24名

6月19日 加賀労働基準協会 理事会
中央会表彰 知事表彰
松本電機(株) 松本賢一

6月20日 小松地区本部
安全表彰

【個人】竹内和良（竹内電気工事(株)）
秋山和也（秋山電工）

【団体】

目標5年(1社)：東本電気(株)

目標4年(2社)：(株)荒川電気商会
(株)谷本電機

目標3年(1社)：(有)川端電気通信工事

目標2年(1社)：山口電設(株)

目標1年(2社)：(株)今出電気商会、
北陸電力送配電(株)石川支社小松配電部



6月25日 第1回企画経営委員会
令和6年度事業計画について

6月26日 第2回配電災害対策・第1回安全合同
委員会

令和6年度事業計画について
石川県労働基準協会連合会定時総会

●●●●● 青年部だより ●●●●●

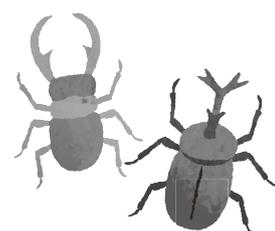
県青年部総会

令和6年5月10日（金）、金沢ニューグランドホテルにて総会を開催した。

司会に川向青年副部長（加南）、議長に本山青年副部長が務め、

- ・令和5年度事業報告（案）及び支出報告（案）承認の件
- ・令和6年度事業計画（案）及び支出予算（案）承認の件

の2議案が審議され、すべて原案通り、承認可決された。



❁❁❁❁❁❁ 女性部だより ❁❁❁❁❁❁

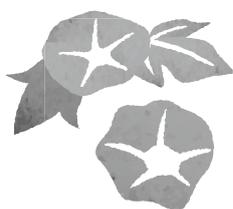
女性部総会

令和6年5月18日（土）、金沢東急ホテルにて総会を開催した。

設立して初めての通常総会でもあり、来賓として、米沢理事長の他、副理事長および青年部長を迎え、司会に安田理事（加南・山口電設㈱）、議長に中村部長（金沢・㈱ナカタケ）が務め、

- ・令和4・5年度事業報告（案）及び支出報告（案）承認の件
- ・令和6年度事業計画（案）及び支出予算（案）承認の件

の2議案が審議され、すべて原案通り、承認可決された。



新加入組合員の紹介

《金沢本部》

【事業所名】 小林電気



- 所 属：金沢本部兼六支部
- 加 入 日：2023年12月 5 日
- 事業所名：小林電気
- 住 所：金沢市菊川 1 丁目20—18— 1
- 代表者名：小林 裕
- 従業員数： 1 人
- 主な事業内容：電気工事業、家庭用エアコン工事

■コメント：主に住宅や施設、店舗等の改装、修繕工事を行っております。安全・安心な工事を心がけてお仕事させていただいておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

【事業所名】 株式会社 eーアシスト



- 所 属：金沢本部白山支部
- 加 入 日：2023年12月 6 日
- 事業所名：株式会社 eーアシスト
- 住 所：白山市相木町532番地 6
- 代表者名：堀 泰幸
- 従業員数： 1 人
- 主な事業内容：電気工事業

■コメント：北陸3県の小規模な工事を中心に営んでおります。お客様から喜んでいただける対応を目指します。

《加南本部》

【事業所名】 はたば電気工事 株式会社



- 所 属：加南本部小松支部
- 加 入 日：2024年 5 月 9 日
- 事業所名：はたば電気工事 株式会社
- 住 所：小松市下牧町ホ47— 1
- 代表者名：中村 真太郎
- 従業員数： 1 人
- 主な事業内容：電気工事業

■コメント：大きく社会が変化するなか、電気工事業界も時代の流れ遅滞することなく、全社一丸となって「お客様目線で進取の業界」を目指していきたいと考えております。

第一種電気工事士取得の皆さまへ

第一種電気工事士免状をお持ちの方で、

- ・定期講習をお忘れではありませんか？
- ・前回の受講日から5年を超過していませんか？
- ・新規取得者された方で5年以上経過した方はいませんか？

お手元の免状をご確認ください

また、お手元に「定期講習申込書」をお持ちの方は、下記日程よりお選びいただきお早めにお申し込みください

2024年度 第一種電気工事士定期講習会開催予定表

開催予定日	曜日	予定会場	申込先
令和6年09月29日	日	石川県地場産業振興センター（本館）	石川県電気工事工業組合
令和6年10月16日	水	生涯学習センター「ラピア鹿島」	
令和6年12月09日	木	石川県地場産業振興センター（本館）	

「確かな未来」が会社を変える。



で退職金。

「中退共」は中小企業が加入しやすい
国の退職金制度です。

毎年10月は加入促進強化月間です。

- ① 国の制度だから安全・安心！
さらに掛金の一部を国が助成します。
- ② 社外積立でラクラク管理！
管理や運用の手間がかかりません。
- ③ 掛金は全額非課税でオトク！
節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんもご加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等とのポータビリティも可能です。
詳しくはホームページをご覧ください

中退共 検索

<http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/>

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211

フルハーネス対応レインウェアのご案内

業界初!! 現場の声を形にした新機能

HEIGHT WORK JACKET/HW-01 高所作業向けフルハーネス対応レインジャケット



透湿度 (初期値) 5,000 g/m²・24h 耐水圧 (初期値) 15,000 mm

《素材》
ナイロンオックス100%
(PUラミネート)

フック掛け専用Dカン

インナーフード



後取り出し式対応

前取り出し式対応

■カラーバリエーション



ネイビー/
チャコール配色
チャコール/
ネイビー配色

■製品特徴



PRO WORK SALOPETTE/PW-01 HW-01&GW-01 専用サロペット

透湿度 (初期値) 5,000 g/m²・24h 耐水圧 (初期値) 15,000 mm

H型サスペンダー



Wファスナー仕様



裾調節



■カラーバリエーション



ネイビー/
チャコール配色
チャコール/
ネイビー配色

■製品特徴



《素材》

ナイロンオックス100%
(PUラミネート)

適用寸法

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
胸囲	85-91	89-95	93-99	97-103	102-108	107-113	113-119
身長	165	170	175	180	185	190	190
腰囲	~91	~95	~100	~106	~112	~118	~126

CG
CRAFTGEAR

動作の
改善

引き裂き
に強い

対応力

視野の
確保

安全帯の
性能確保

転倒防止

考え抜かれた6つの専用設計

製造元 株式会社コヤナギ

〒924-0037 石川県白山市荒屋柏野町 71 番地



TEL : 076-276-1121

FAX : 076-276-1077

<https://kk-koyanagi.com>

商品のご購入については 石川電気工事工業組合

[金沢本部] 金沢市新保本 4-65-22
TEL.076-269-7880 FAX.076-269-7881

[能登本部] 七尾市寿町 112-3
TEL.0767-53-0222 FAX.0767-53-8084

[加南本部] 小松市向本折町ネ 88
TEL.0761-22-6244 FAX.0761-24-6316

までお問い合わせ下さい。

この夏は
休みをつなげて
心身ともに
リフレッシュ。



Refresh!
もっと自分らしい
働き方
休み方

年次有給休暇 を上手に活用し 働き方・休み方を見直しましょう

- 「年次有給休暇の計画的付与制度」を導入しましょう。
- 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。

厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署

働き方・休み方改善ポータルサイト
<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>

年次有給休暇取得促進特設サイト

年休取得促進
特設サイト



年次有給休暇を上手に活用し 働き方・休み方を見直しましょう

年次有給休暇の計画的付与制度を導入しましょう。

「年次有給休暇の計画的付与制度」とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇の取得の確実性が高まり、労働者にとっては予定していた活動が行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

①日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の労働者

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の労働者

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

②活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用
個人別付与方式	個人別に付与	年次有給休暇付与計画表により各人の年次有給休暇を指定

年次有給休暇の計画的付与に関する労使協定の例（個人別付与方式の場合）

〇〇株式会社と〇〇労働組合とは、標記に関して次のとおり協定する。

- 当社の従業員が有する〇〇〇〇年度の年次有給休暇(以下「年休」という。)のうち5日を超える部分については、6日を限度として計画的に付与するものとする。
なお、その有する年休の日数から5日を差し引いた日数が6日に満たないものについては、その不足する日数の限度で特別有給休暇を与える。
- 年休の計画的付与の期間及びその日数は、次のとおりとする。
前期=4月～9月の間で3日間 後期=10月～翌年3月の間で3日間
- 各個人別の年休付与計画表は、各期の期間が始まる2週間前までに会社が作成し、従業員に周知する。
- 各従業員は、年休付与計画の希望表を、所定の様式により、各期の計画付与が始まる1か月前までに、所属課長に提出しなければならない。
- 各課長は、前項の希望表に基づき、各従業員の休暇日を調整し、決定する。
- 業務遂行上やむを得ない事由のため指定日に出勤を必要とするときは、会社は組合と協議の上、前項に基づき定められた指定日を変更するものとする。

〇〇〇〇年〇月〇日

〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇

〇〇労働組合 執行委員長 〇〇〇〇

時間単位の年次有給休暇を活用しましょう。

年次有給休暇の付与は原則1日単位ですが、労使協定を結べば、年5日の範囲内で、時間単位の取得が可能となります。労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に役立ちます。

〈労使協定で定める事項〉

① 時間単位年休の対象労働者の範囲

対象となる労働者の範囲を定めてください。一部の者を対象外とする場合には、「事業の正常な運営を妨げる場合」に限られます。

② 時間単位年休の日数

1年5日以内の範囲で定めてください。

③ 時間単位年休1日分の時間数

1日分の年次有給休暇が何時間分の時間単位年休に相当するかを定めてください。1時間に満たない端数がある場合は時間単位に切り上げてください。(例) 所定労働時間が1日7時間30分の場合は8時間となります。

④ 1時間以外の時間を単位として与える場合の時間数

2時間単位など1日の所定労働時間数を上回らない整数の時間単位を定めてください。

●就業規則や労使協定のモデルは、「年次有給休暇取得促進特設サイト」をご覧ください。

労働基準法が改正され、2019年4月から年5日間の年次有給休暇を確実に取得させることが必要となりました。

注) 時間単位の年次有給休暇の取得分については、確実な取得が必要な5日間から差し引くことはできません。

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2024年6月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病欠補償) 【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約なので個別にご加入いただくよりも割安です。
※50事業者以上の場合:事業者数割引が15%適用されます。
2. 従業員の方々からの**個別健康告知は不要**です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出します。
4. 保険料は**全額損金処理が可能です**。
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いとなります。
(法人税基本通達9-3-5,9-3-6の2を準用 2024年 5月現在)
5. 業務中の**地震によるケガも補償**します。
(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
6. 高額化する労災訴訟への備えとして、
最高5億円(※)までの損害賠償責任に対応!
※損害賠償保険金の支払いにあたっては、労災保険の請求結果が必要です。
(注)事業内容によっては引受限度額が1災害最高3億円になります。
※弁護士費用等の争訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。
詳細につきましては、パンフレットをご覧くださいか、
取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

◎このような場合に保険金をお支払いいたします。



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店

金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG損保

AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号:D-007300(2025-06)

全日電工連認定損害保険制度の概要

全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

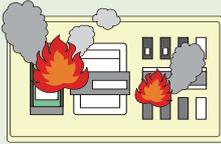
物への補償

人への補償

ご自身の損害

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

第三者の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし、通行人にケガをさせた。

全日電工連の生命保険

グループ共済制度

病気 災害
業務外 業務上 **24時間保障!**

加入年齢範囲の拡大!

経営者おすすめコースの活用

制度の推進を
承っております
幹事会社住友生命
より、訪問の上、
詳しい説明をさせ
ていただいております。

全日電工連の生命保険 (災害保障特約付 団体定期保険 [契約概要・注意喚起情報]) 2024年(令和6年)年度版(概算掛金)

全日電工連 グループ共済制度のご案内

経営者・従業員の皆様の万が一に安心の備え

手頃な掛金で、死亡保障・高度障害の保障を
充実できます。

死亡保険金は、業務中・業務外を問わずお支払いします。
(※不慮の事故による5日以上入院も保障)

経営者おすすめコースの活用

70歳まで3000万円まで
ご加入いただけます!

万一のとき、遺族保障や
事業承継のお役に立ちます。



新規加入・増口可能年齢

15歳~75歳

(71歳~75歳までは50%限度)

継続加入年齢

80歳まで

就業期間中なら80歳まで
継続加入できます。

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日本電気工業労働組合連合会

〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5861 FAX 03-5232-6855 E-MAIL: zennichi@znd.or.jp

手続きや制度内容のお問い合わせは
右記にご連絡ください

スマセイフリーダイヤル(団体保険契約室) ☎ **0120-307282**

【受付時間】 月曜日~金曜日 午前9時~午後5時(祝日・12月31日~1月3日を除く)

本パンフレットは次回更新日まで大切に保管してください。

品名コード 102-251 CG2023-0364

※ご加入にあたっては
こちらのパンフレットを必ずご覧ください。



全日電工連グループ共済制度幹事会社 住友生命保険相互会社 金沢支社

〒920-8632

石川県金沢市上堤町1-18

住友生命金沢上堤町ビル7F

TEL076-231-1283

あなたの未来を強くする



● 組合事務局日誌 ●

- 1月4日 仕事始め
10日 三役会議・年始挨拶廻り（全日電工連）
16日 全国女性部連絡協議会（全日電工連）
24日 代議員会
（ほくりく地域産業企業年金基金）
技能競技委員会（全日電工連）
26日 役員会（北陸電工連青年部連絡協議会）
30日 金沢本部全体会議
配電委員会（北陸電気工事組合連合会）
- 2月5日 全国女性部連絡協議会（全日電工連）
13日 厚生委員会
14日 合同会議開催地懇談会（全日電工連）
15日 理事会・政治連盟役員会・合同会議
（全日電工連）
16日 保安功労選考委員会
（北陸電気工事組合連合会）
26日 電設委員会 ZOOM
（北陸電気工事組合連合会）
- 3月6日 取締役会（㈱全日電工連総合サービス）
8日 安全委員会
全国青年部協議会評議員会（全日電工連）
18日 配電委員会
19日 総務委員会
25日 電気記念日式典（日本電気協会北陸支部）
企画委員会（石川県中小企業団体中央会）
経済講演会（石川県中小企業団体中央会）
27日 被災者支援打合せ会
（いしかわ21世紀住まいづくり協議会）
- 4月3日 正副会長会議（石川県建設産業連合会）
19日 総合政策会議（全日電工連）
22日 配電工事業者事業主会議
23日 監事会
女性部設立総会（富山県電気工事工業組合）
24日 厚生委員会
30日 常務会
新加入者面接、書類理事会
- 5月8日 役員会
9日 電設委員会（北陸電気工事組合連合会）
10日 理事会
（全国労働保険事務組合連合会石川支部）
- 13日 配電委員会（北陸電気工事組合連合会）
14日 役員会（石川県中小企業団体中央会）
金沢本部全体会議
15日 総務委員会（北陸電気工事組合連合会）
外線・引込線 新入社員教育（～17日迄）
17日 第4回送配電工事協働情報連絡会役員
会議（北陸電気工事組合連合会）
18日 女性部総会
20日 加南本部全体会議
22日 役員会
（石川県中小企業団体事務局協議会）
27日 支部大会・表彰式
（日本電気協会北陸支部）
29日 三役会議・理事会・総合サービス取締
役会（全日電工連）
31日 創立50周年記念式典
（石川県設備設計監理協会）
- 6月3日 第62回優良従業員表彰式・第83期通常
総代会
5日 定期総会・講演会（北陸経済連合会）
7日 北陸地区電気エネルギーを考える会総
会（北陸電気工事組合連合会）
配電委員会
正副会長会議（石川県建設産業連合会）
10日 理事会・代議員会
（ほくりく地域産業企業年金基金）
11日 常務会・総会
（北陸電気工事組合連合会）
13日 広報委員会
理事会・通常総会
（石川県建設産業連合会）
18日 内線 新入社員教育（～20日迄）
19日 通常総会・表彰式
（石川県中小企業団体中央会）
26日 通常総会・研修会
（石川県中小企業団体事務局協議会）
三役会議（全日電工連）
27日 理事会・通常総会（全日電工連）

こうほう 第 161 号

発行 2024年 7 月 20 日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



能登をひとつに

私たち北陸電力送配電は、地域の皆さまに支えられながら事業運営していることを
従業員一人ひとりが胸に刻み、皆さまとところをひとつにして
能登の復興と北陸の発展に全力で取り組んでまいります。

未来へ、めぐらせる。



北陸電力送配電